

## 【資料1】

## 平成22年度全国学力・学習状況調査「笠間市の現状と課題」

## 【小学校・算数】

○…身に付いている内容

●…課題と考えられる内容

領域	現状と課題	設問番号	市正答率(%)	国正答率(%)	全国との差
数と計算	○四則計算の力は概ね身につけている。 ●もとにする量を見出し、単位量あたりの大きさを求める力が不十分である。 ●ある量を等分するときの立式や、立式後に商を分数で表す方法についての理解が不十分である。また、問われていることの読み取りに課題がある。	A11(3)	92.3	89.6	2.7
		A12(1)	55.3	53.8	2.5
		A12(2)	41.8	40.2	0.4
量と測定	○角の大きさを求める点において、補角の大きさを求めることが概ねできている。 ●円の面積の求め方を考える際の等積変形の仕方について理解が不十分である。 ●説明を解釈することや、言葉による記述説明が不十分である。	A5(1)	83.2	82.7	0.5
		A4(2)	53.8	55.3	-1.5
		B4	25.5	33.3	-7.8
図形	○いろいろな図形の定義や性質は、多くの児童が理解している。 ●算数の用語を使って言葉や式的に表現する力と、問題に示された数値や条件を読み取り、筋道を立てて考える力が不十分である。 ●示された説明を解釈し、用いられている考えを別の図形に適用して説明を考え、その説明を数学的に表現することに課題がある。	A7	86.5	76.1	10.4
		B2(1)	27.4	31.7	-4.3
		B6(2)	19.7	14.6	5.1
		B4	25.5	33.3	-7.8
数量関係	○示された3つの円グラフから目的に合うものを選び、そのグラフから、必要な情報を読み取ることは、概ね身につけている。 ●二次元表の数の意味を読み取り、適切に表現したり、円グラフに関連付けて考えたりすることに課題がある。 ●割合が一定のとき、基準量の大小から比較量の大小を判断し、それを論理的に説明することに課題がある。	B3(1)	96.6	95.9	0.7
		B3(3)	42.3	40.0	2.3
		B5(2)	26.4	17.1	9.3

## 【中学校・数学】

○…身に付いている内容

●…課題と考えられる内容

領域	現状と課題	設問番号	市正答率(%)	国正答率(%)	全国との差
数と式	○分数を含む1次方程式を解くことや等式を変形することは、概ねできている。 ○式の意味をよみとることは、H19の同趣旨の問題(小6時)と比べ、正答率が上がったといえる。 ●負の数の大小関係や1次方程式の解の意味について理解が不十分である。 ●事柄が成り立つ理由を説明することにおいて、結論までしっかり示すことに課題がある。	A12(5)	70.7	72.1	-1.4
		A13(2)	61.4	58.1	3.3
		A12(2)	75.7	74.5	1.2
		A11(2)	69.9	74.5	-4.6
		A13(1)	53.1	55.2	-2.1
図形	○垂線の作図の手順については、概ね理解できている。 ○三角形をその面と垂直な方向に平行に移動させると、三角柱が構成されることは概ね理解している。 ●円周率 $\pi$ を用いて円柱の体積の求め方を式で表し、体積を求める方法については課題がある。 ●図形の性質や条件を、記号を用いて表すことについて理解が不十分である。	A4(2)	89.7	85.9	3.8
		A5(2)	86.0	83.0	3.0
		A5(4)	38.6	39.9	-1.3
		A7(3)	59.0	61.9	-2.9
関数	○比例の関係を表す表の特徴をとらえて、 $x$ の値に対応する $y$ の値を求めることは概ねできている。 ●学習課題から2つの事象が反比例の関係になっていることや1次関数の関係を見つけ出し式に表すことを読み取ることが不十分である。 ●グラフから数量を読み取り、文章にまとめ説明することが不十分である。	A9(1)	93.6	87.8	5.8
		A10(2)	62.3	62.7	-0.4
		A11(3)	21.4	22.9	-1.5
		B3(2)	31.5	29.1	-2.4